

サロンあべの

VOL. 143

サロン・あべの4月の出会い

98年4月18日(土)、育徳コミュニティセンター2階研修室において、サロン・あべの4月の出会いを開催しました。

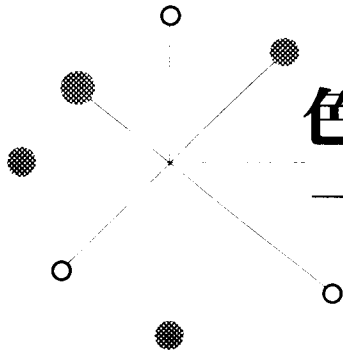
98年度最初の出会いは、「色による心の癒し」をテーマに、メインパネラーの福永享子さん、アシスタントの米田桂子さんと西浦千秋さんの3人の方々に、お話しをしていただきました。

まず、手作りのカードなどを使って、色についての基礎知識(三原色、分類、組み合わせ、見え方、感じ方など)を教えてくださいました。

色は、人間の心理面はもとより、体に対しても影響を与えるなど、多くの働きを持っています。この働き(効果)を利用して、オフィスの色を変えて仕事の効率を上げたり、あるいは、企業イメージや商品メッセージなどを、色に託して伝える試み

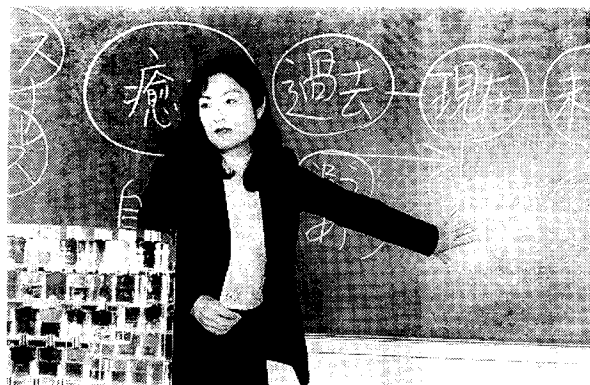
色による心の癒し

— 色と5感を使って —



が行われています。

色の判断は、生後2、3歳からできるようになります。しかし、色の好き嫌いは後天的なもので、親の影響がとても大きい



福永享子さん

ようです。色に対する固定的なイメージや、流行などに左右されない、「自分の色」を発見することが大切なのです。

もちろん、実習もありました。

配っていただいた絵や、自分でかいた6個の丸に、それぞれ色を塗りました。そのときに使った色や、塗り方、塗った順番などから、その人自身を知ろうとするものです。性格はもちろん、他人に対する行動、欲求や健康状態までが判断できてしまうそうです。この日は、参加者が多かったのですが、色の使い方、塗り方は千差万別。本当に個性が出るものです。

次に、上下2色に分かれた液

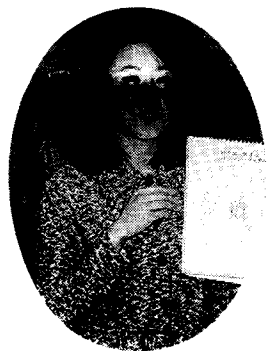
朗読テープのご案内

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、
 ▲サロン・あべのV紙一四二二号の録音テープ(六〇分)が出来ました。
 朗読テープ文庫

1. ▲サロン・あべのV紙は、第一号より一四二号までそろっています。(五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本)



米田桂子さん



西浦千秋さん

体が入っている100本の小瓶(この日は、場所の都合で50本でした)が登場。もちろん全部色の組み合わせが違うわけですが、その中から4本を選び出し、その選んだ順番や組み合わせによって、その人の心理分析を行うという、デモ・リーディングです。本来、人前で行うものではありませんので、ほんの触りの部分だけでしたが、参加者を代表して2名が体験をしました。こうしてその人自身を知ること



とは、まず第一の段階です。自分自身を知り、見詰め直すことから「癒し」が始まるからです。その上で、健康で自分らしく生きて行くために、「色」の持つ力を利用するのです。福永さんからカラーセラピーは、そのアドバイスをしてくれるのです。
 参加者 30名。

2. ▲サロン・あべのV十周年記念誌

- 「はあとが、はろー!」(九〇分テープ 二本十一二〇分テープに収録)
3. 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
4. 「ラジオたんぱ」放送「▲サロン・あべのV平成七年五月の出会い」放送分(三〇分)

5. エッセー集「逃げたヨナナ」ポラントニア活動の周辺」(岡本栄一著)

表谷恵美子音訳

いずれもご希望の方には、ダビング、または貸出しをしますので、富田までお申し出ください。(☎〇六一六九一一〇二八)

〈さろん準〉の品物そろそろ
 ご用意お願いします・ね。

作る つくる 創る 河合恵子

祭りの季節

ゴールデンウィークが慌ただしく過ぎ、母の日が終わるころ、ちよっと周囲を見回してみると急に青々と繁ったした木々の緑が目飛び込んでくるように感じます。御堂筋の銀杏並木が回りのビルのガラスにまるで緑の滝のような光景を写し出すのもこの頃。そして京都では大きな祭りのあるシーズン。さて、まず十五日は葵祭。これは上賀茂神社と下鴨神社のお祭りで平安時代に「祭り」といえば葵祭をさしたとか。近年、話題になるのはもっぱら斎王代をつとめる女性のことですが、葵と蔓を組み合わせた葵桂で飾った牛車を中心に華やかな平安絵巻を思わせる行列が京都御所から二つの神社まで賀

茂川沿いの道を往復する。そしてそれぞれの神社で古式による祭儀があり、また糺の森では走馬が行なわれる。地に落ちし葵踏み行く祭りかな

子規



そして第三日曜日は三船祭。嵐山の渡月橋近くで行なわれる車折神社の祭り、神輿の御座船を先頭に数十艘の供奉船が大堰川を上り下りし、それらの船から川中に美しい扇が流される。

扇流しとは本当に京都らしい雅びな祭り。

稚子達の舟より流す扇かな

芳村

ゆったりと水間を流れていく扇を想像するのも楽しいもの。また江戸時代舟遊びの舟から、食べ終えたお弁当を包んでいた竹の皮が川に投じられたのを見ると内側に金の蒔絵がほどこしてあったという逸話を聞いたことがあります。さらに古事記の時代、ヤマトタケルノミコトがヤマタノオロチを退治するきつかけとなったのは確か、川を流れてきた箸をみつけたこと。

夏に向かつて水辺を散策するのが気持ちのよい季節。浮き世のことは少し忘れて川や水にちなんだ故事に思いを馳せるといふのはいかがですか。

ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、
生き生きした生活を送るために—

2

伊藤智佳子

の意味がある。

現在、障害者団体などで、ピア・カウンセリングを、仲間同士の相談援助活動、仲間同士のカウンセリング、同質の、あるいは類似の問題を抱える者同士のカウンセリングと定義づけることが多いのは、英語のPeerに由来している。

様々な立場の人たちのピア・カウンセリングの歴史をたどると、精神障害者のピア・カウンセリングは、1939年に設立されたアルコール依存者匿名協会（Alcoholics Anonymous）の取り組みが始まりであるといわれている。高年齢者のピア・カウンセリングは、1978年、ミシガン州アナバーのミシガン大学病院の外来用のターナー老人診療所の心理社会部で行われたのが始まりであるといわれている。ピア・カウンセリングは、ピア・サポート・システムのプログラムのひとつとして行われていた。

身体に障害をもつ者のピア・カウンセリングは、1970年代にアメリカで自立生活運動（Independent Living Movement、以下IL運動

と略）が展開した時期とほぼ同時期に展開した。これは、施設や病院の中で管理・保護の対象とされてきた障害者が、人間としての尊厳や権利を回復する過程で、ひとつの手段として用いられてきた。そして、障害者リハビリテーションの目標が日常生活動作の「自立」（Activity of Daily Life, ADL）から生活の質の充実（Quality of Life, QOL）へと移行する中で、実践においては次第に広がってきた。

障害をもつ者同士のピア・カウンセリングの出発点は、上述のA・Aやシナノン（Synanon）などの取り組みを規範としているように思われる。というのは、

- ①A・Aで行われる12のステップに基づく話の聴き合い、
- ②アルコール中毒回復者がアルコール中毒患者の目標、つまりロール・モデルになっていること、
- ③自分ではどうすることもできない力に閉じこめられているという意識から解放されることを強調している、

という3点を手本として、障害をもつ者同

【わが国における障害をもつ者同士のピア・カウンセリングの導入過程】

1. ピア・カウンセリング発生の背景

ピア・カウンセリング（Peer・Counseling）のピア（Peer）には、「社会的・法的に」地位の同等な人、「能力などの」同等な者、同僚、仲間（旺文社編『英和中辞典』1997年版）など

士のピア・カウンセリングの取り組みが行なわれてきたように思われるからである。

①の取組と障害をもつ者同士のピア・カウンセリングの類似点は、A・Aの12のステップが、アルコール依存者がグループを離れても、その日その日の禁酒の目的を達成できるための個人の指標となっており、これはピア・カウンセリングの感情の解放・言語化という手法による、自分の今の状態や感情を吐露するということに通じる取り組みといえる。

②は、後輩のアルコール依存症者が、先輩のアルコール依存症者がどのように立ち

★書かれていないこと

いくつかの福祉団体にボランティアとしてかかわっていると、どんな本にも書かれていない大切なことに気づく。そして「ああ、あの人の言っていたことはこれなんだな」と、他のボランティアたちの言葉を後になって思い出すのである。

どんな本にも書かれていないことは

直ったか、現状維持の方法を先輩の依存症者の実体験を知ることや見ることが後輩のアルコール依存症者に生きる希望を与えるという点と、先輩障害者が生き生きと暮らす姿を見ることを通じて後輩障害者の生きる力につながるということに類似点がある。

③は、一旦アルコール中毒患者というステイグマを負わされると、周囲の偏見に抑圧され、自信を失う人もおり、そのような偏見やステイグマによる抑圧からの解放を重視していることと、ピア・カウンセリングで障害というステイグマや偏見からの抑

圧からの解放を重視することが類似点といえる。

A・Aのプログラムを手本として出発した障害をもつ人のピア・カウンセリングは、IL運動の展開・発展、地域での「自立生活」の実現・継続を望む障害者が増えてきたことにより、その内容が少しずつ障害をもつ者独自のピア・カウンセリングに発展しつつあるといえよう。

〈さろん亭〉の品物そろそろ
ご用意願いします・ね。

「研究」を職業上の看板にしている私には魅力的なことだ。しかし、私もまた書けそうにない。それは、その団体の「秘密」であり、書いて公衆の目に晒(さら)すことは集団の存続さえ危うくさせるかもしれないからである。

誰もが気づいていて、しかも、それを書くことができないことは、この社

会には数多くあるのだろう。人々に書く勇氣がないわけではない。書く技能がないわけでもない。書けば、誰かが傷つく。そのような人々への配慮から、たとえ大切なことであっても書かないことがある。私は四〇になって、ようやくそれに気がついた。

いままでの私は書かれたものしか信



用しなかった。「大切なことは必ずどこかに書かれて記録されているはずだ。逆に言えば書かれなかったことは、書く必要がなかったのであり、したがって大切なことではない」。そう考えていた。

だからこそ、できるだけ多くの本を読み、古い記録を手に入れて、それをまとめることで「研究」を進めていた。しかし、それではわからないことが多いのである。

.....

走ろう歌おう大運動会

.....

今年で16回目を迎える「走ろう歌おう大運動会」では、参加者の交流がより深まるよう、競技はすべて全員参加種目とし、班単位で競い合うものとなりました。

また、盲導犬の話や手引き・白杖歩行体験などの他にアコーディオンや和太鼓演奏も企画しています。皆様、ご参加ください。

記

日時；5月31日(日) 午前9時-午後3時

場所；榎立桜宮小学校グラウンド
(雨天時は体育館。体育館シューズご持参下さい)

参加費；大人=1000円

小人=(中学生以下)500円
(参加費には保険料含む)

お申込み・お問い合わせ先；

仲谷政彦(0726)78-5596

私がいまの自分の福祉活動を書くとしたら、「毒」を抜いた、表面的な装いを描くだろう。その方がうまく整理できる。他の人に迷惑がかかることもない。見た目にもきれいだろう。私が、これまで集めた資料は、実はこのような思いで人々が書き落としたものにならざるを得ないのかもしれない。

私は、その時間と労力と資金を使って、見栄えの良い些事ばかりを集めてきたのだろうか。そう思うと、この世界がまだ開かれていない秘密の箱の山のように見えてくる。

では、これを開くためにはどうすればいいか。私自身も持っている秘密の箱は信頼できる人の前ならいつでも開くことができる。いや、秘密というよりは困るだけで、相手が安心できる人なら「実はね」という切り出しで、話そうと思えばいつでも話せることなのだ。

こちら側から近づいて尋ねて初めて話してもらえ世界と、知ってください。いと相手側が書いて誰にでも読めるように用意されている世界との間には、大きな隔たりがある。書かれたものばかりを読んできた私には、その事実はいのほか大きく響いている。(知)

スーパーのインスタア・ベーカーリーに勤めて1年が過ぎようとしています。

毎日30種類くらいのパンを作ってるんですよ。パン屋に行くのが書いてある所がありますよね、あれなんです。よって常に一生懸命焼いています。

パンと言っても食パン、菓子パン、調理パン、フランスパンといろいろ。

まずは食パンの作り方。わが職場では1キロの粉で4つの食パンを作ります。20個の食パンを作るなら、5キロの食パン用小麦粉に2リットル強の水、卵5個、生イースト、これだけをまず強さを变更后（自動車のロウ、1、2、3、と思ってください）7分機械で練り（ミキシングといいますが）、バター100g強を入れ8分ミキシング。27度くらいの温度で仕上げ、箱

に入れ約1時間第一発酵。次は大きな調理用まな板の上で秤で200gずつに分け丸め、20分置き、今度は少し固めに丸め食パン用の型に入れホイロ（湿度

パン職人・ただいま修行中

度は違いますし、カマに入れる量によっても温度は微妙に変わって来ます。ともかく時間との勝負。型に入れる時もしっかり丸めないとパンを切ったときキメが粗くなるし、味も落ちる。固過ぎてはダメ、これは経験がものをいいます。

ホイロから出す生地や、鉄板は意外と重たいし、カマの前は200度近い温度です。体力のいる仕事で火傷もよくします。忙しい割りに儲からない仕事ですが（パン1個の単価が安いから）物を作るということがこんなにも楽しいことだとは思っていませんでした。

調理パン、菓子パンではませる材料も、ミキシングの時間も違い、ウインナーを巻いたりのせたり、タマネギやチーズを入れたり、毎日同じことの繰り返しですが、なかなか同じようにいきませんし、焼けません。

80%）で約45分第二発酵させ、オーブン（カマと言っています）で約35分焼いて出来上がり。と書けば簡単なようですが、その日の温度、夏と冬では発酵の温

生地を丸めるコツは手のひらの付け根。基本はありますが、これは何分ぐらいで焼けるかというのが、解ってきた所です。初めのころは形が崩れたり、焼き過ぎと、失敗の繰り返しでしたが、今は失敗も少なくなりました。み食いも出来なくなりつつあります。

パン作りって意外としんどい仕事ですが、焼き上りの匂い、出来上がった充実感は何ともいえません。

パンはそのまま置いておくと乾燥します。出来るだけ空気に触れないよう保存してください。食パンはラップに包んで冷凍しておくことが出来、解凍の時少し水をふりかけて焼くといいですよ。でも美味しい内に食べてください。

目指せ未来のパン職人

中村 美根子

度経済を回復させる方法があるという、新政府と一般国民の熱意がものすごいです。いくら前には、全国的な呼びかけを受けて、金を集める運動に多くの女性の金が集められて、経済の大きな助けになりました。私も金集めに参加したかったけれども、普段贅沢が嫌いなので金の指輪はもちろんですが、時計さえなくて参加することができませんでした。

一方、その間、私の家にはうれしいことがありました。私の長男（14歳）が、初等学校卒業式の日（98年2月19日）6年皆勤賞と学業優秀賞、奨学金を同時に受賞して家族みんなの大きな喜びになりました。中学校に入学して、最初に受けた試験でも（100問中98問）に正解して、全校で11番（クラスで2番）なので、うっとうしい家の中の雰囲気はものすごく明るくなりました。

私は息子に対する期待が大きく、将来、宇宙物理学者（私の幼いときの夢でもあるので）になることをひそかに期待していますが、息子にやりたいことがあるなら、力いっぱい応援するつもりです。息子たちが成人になったら、間違いなく富んで強い祖国が成り立っていることを信じながら、今日も家族全員それぞれすべきことを一生懸命しています。

韓国では、花は普通ケナリ（*トウケナリ*）が最初に咲きますが、最近は温室栽培が多く季節に関係なく多様な種類の花を見ることができます。

(略)

では、楽しくお元気で過ごされますようお願いしつつ、今日はここでペンをおきます。

1998. 3. 26

大邱にて 馬 泰 植

☆長男の卒業式のときに撮した家族写真と私ひとりの写真、そして、「再活の先鋒」トンイル（漫画）を一緒にお送りします。楽しんでご覧ください。

訳：出口美和

お知らせ

<サロン・あべの>6月の出会い

日時 6月20日(土)午後1時～4時

場所 育徳コミュニティセンター研修室
[大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
スロープ・車椅子トイレ有り]

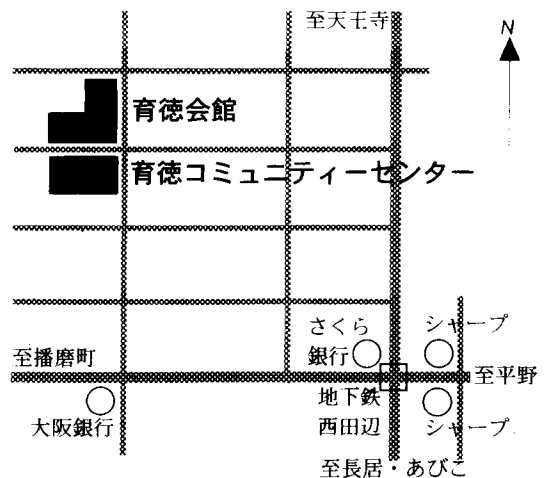
テーマ 「草木に習うこと」

パネラー 山口 康二郎 氏
～日本園芸協会会員・
樹医・家庭園芸士会～

会費 なし

お問い合わせ先

TEL 06-691-1028 (冨田慶子)





アフター・サロン

富田さん、こんにちは。

この間はありがとうございました。

△サロン・あべのVの開催日が祭日と重なりましたので、私は気がねなく出かけて行くことができました。

また、集合場所が長居の障害者スポーツセンターで、テーマは「スポーツする？」でしたので、プールしか利用したことのない私はとても楽しみにしていました。盲人卓球の他、ライフル射撃もさせていたで、9点とか10点が出て大喜びでした。

4時で解散になった後、曾根さんと一緒にプールの見学に行きましたが、大人の人はほとんど泳いでおらず、子供さんの水泳教室のようで、2〜3歳くらいの小さな子供が先生かお母さんに抱かれて、水なれをしていました。10分くらいでそこを出まし

たら、曾根さんが、私が障害者手帳を持っているので、ここを利用できないのを知っておられて、トレーニング室へ連れて行ってくださいました。

「僕が体育館シューズを持ってきているから貸してあげる。和田さん、なにかできる運動をしたら」

「介護者が運動していて、曾根さんが見ていたら、受付の先生におこられるヨ」

「一緒にしましょうヨ」

「いや、僕はいいですよ」
などと言いつつ合っていますと、シューズを貸してくださることがわかり、二人ですることになりました。自転車やいろんな道具が並んでいました。

「これ、どうするのかなー？」

「ああするのかなー？」

と言いつつながら、さわっていました。わからないので先生に聞いてみましょうということになりました。

自転車こぎ、背筋と胸筋の運動、ツイスト運動など、4種類ほど、私にも出来る座ってやる運動を次々教えていただき、曾根さんと二人で頑張りました。

「突然、運動して、明日、筋肉痛になるかもしれないですよ」

「そうやねえ、曾根さんも、手を鍛えすぎて、明日、仕事が出来へんかったらあかねえー」

などと言つてこの日は、楽しく帰宅しました。本当に楽しい半日で、ありがたく思いました。

和田 保子

くすのき

新芽が萌えだすと古い葉が静かに枝を離れる「樟若葉」「樟落葉」の季節が終り、赤みがかつた黄色の若葉がむくむくと盛り上がるように茂って、初夏に。
なにがなんでも「かるた」です。

発行 かるた堂一五〇円

〈さろん亭〉の品物そろそろ
ご用意お願いします。ね。

忙中、忙あり

ご無沙汰しております。お元気に活躍と拝察いたします。毎々「サロン・あべの」紙ご送付いただき有難うございます。

欠席ばかりで申し訳ありません。第3土曜日を頭に入れていたのですが、都合がつかず失礼をしています。以前、講習会があったと申し上げたと思いますが、実は相変わらずネパールとの関わりを続けています。どうしても多少なりとも「ことば」が必要になってきまして、毎週土曜日に習いに行っている次第です。(とても話ができませんとは思っていませんが、ネパールの匂いを感じさせてくれるので続けたいと考えています)

「てくてくすみよし」「サロン淀川」からもご案内をいたゞくのですが、日曜日はハイキングクラブの案内役の手伝いを依頼されています。ま、ならず失礼をしています。ネパールの友人の学校も比較的順調に推

移いたしました。この5月に分校ができました。ヒマラヤの見える田舎の学校ですが11月に訪れる予定で、今から楽しみにしているところです。

日ごろ、なかなか聞かせていたゞけない貴重なお話の機会に参加できないのは真に残念なのですが、もう少し時間をいたゞいてからお会いできると思っていますので、宜しくお願いいたします。

皆様にもどうぞよろしくお伝え下さい。

敬具

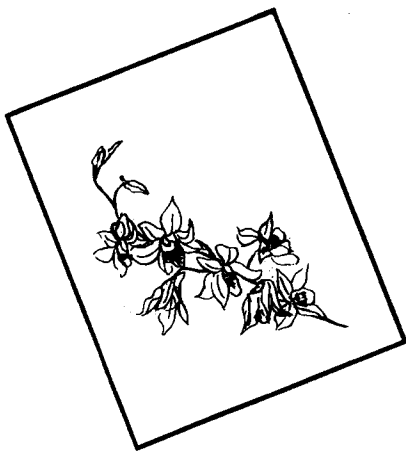
山 野 荘 一

感謝

カンパ、切手、缶ジュース、お茶菓子、手作りマスコット、バザー用品、冊子等のご寄贈、またサロングッズのお買い上げ、ありがとうございます。

お礼申し上げます。

- 稲垣恵雄、岡崎美智枝、風 智恵子、
- 栗谷清子、須賀茂登子、杉山篤枝、
- 鈴木昭二、曾根利弘、東谷和代、
- 福永幸子、宝示愛子、山田絹代、
- 吉原和郎、その他の方々。



サロンの絵はがき

「花だより」「出会いの風景」「わがまち 阿倍野」があります。ちょっとした近況、お知らせや季節のごあいさつなどに、どうぞ。

1セット5枚組 ¥150-

美智子のこんな話

岸田美智子

自立生活センター

くまいどくからのお知らせ

5月23日の設立集会をスタートに自立生活センターくまいどくでは、いろいろなテーマで公開セミナーを開いたり、9月頃からは、自立生活プログラムなどを行っていく予定です。

まず、6月、7月と2回続けて、「地域で暮らしたい！あなたも私も」というテーマで、公開セミナーを開きます。

6月は、28日の日曜日の午後1時から4時半、住吉区の解放会館で、二人の講師の

方をお招きして行います。

講師は、住吉区役所に10年、勤務されている方で以前は福祉事務所生活保護の担当。現在は、健康福祉サービスクの母子保険などの担当で、直接、区民の皆さんの生活相談に乗ってこられた小西さんです。

もう一人の講師の方は、中部障害者解放センターの代表者であり、6月から、自立生活センター「ナビ」の代表をされる予定の尾上さんです。尾上さんは、ご自身も電動車椅子使用の障害者で、障害者問題については、もちろん、知る人ぞ知る全国的にも有名な方で、障害者施策についても、行政マン顔負けの詳しい知識を持っておられる方です。

このような、お二人をお招きして、区役所の健康福祉サービスクに持ち込まれるいろいろな相談内容や普段の仕事の中で感じておられること、そして、行政から私たち自立生活センターの動きに期待することなどを話し合っていきたいと思っています。もちろん、障害者の地域での自立生活について、どのような制度保証があるのかや、今後の課題なども、話し合っていく予定です。

す。

7月のセミナー2回目については、重度障害者の地域での生活の場である各地のグループホームでの、生活支援の在り方についてなどの内容を予定しています。

詳しくは、また次回にご案内できると思っています。自立生活センターくまいどくでは一人でも多くの皆さんの参加をお待ちしています。

自立生活センターMY-DO設立集會

日時=5月23日(土)午後12時30分~4時

場所=ピア大阪4階ホール

(大阪市東住吉区南田辺1-9-28)

早川福祉会館内

TEL06-622-1180

講演=「重度障害者の自立生活は障害者の文化を創り出す」

講師=鯛(鱈) 金満里氏

参加費=500円

連絡先=TEL06-607-8260

FAX06-607-5503

「さろん亭」の品物そろそろ
ご用意お願いします。ね。



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」6月の出会い

日時：6月21日(日)午後1時30分～午後4時

場所：「やすらぎ」

大阪市淀川区三国本町2-14-3

内容：「切り絵にチャレンジ」

～切り絵との出会いを大切に～

パネラー：塩入みや子氏

切り絵作家「おさか音さだ」切絵でつる

会費：なし

問い合わせ先：淀川区社協 絆フェア・ビューロー

TEL06-394-2900

■「サロンつるみ」6月の出会い

日時：6月 7日(日)午後1:30-4:00

場所：大阪市立鶴見会館2階

[鶴見区横5-5-51]

内容：パソコンでコミュニケーション

～パソコンはちょっと苦手でも

多少は興味がある。

そんな人たち集まれ～

パネラー：宿南 勝氏

会費：なし

問い合わせ先：TEL06-913-7070

(鶴見区絆フェア・ビューロー山本)

■《てくてく・すみよし》6月の出会い

日時：6月14日(日)午後1時～4時

場所：大阪市立長居障害者

スポーツセンター2階

[TEL06-697-8681]

内容：介護保険よもやま話&ビデオ

(写真交換会も予定しています。)

お楽しみに！！)

パネラー：脇坂博史氏

(大阪市社会福祉協議会地域福祉推進室)

参加費：500円(おやつ・飲み物付)

締め切り：5月末日

お申込み・お問い合わせ先：

TEL06-692-8411(山本)

■「サロンいたみ」6月の出会い

日時：6月下旬(予定)

場所：伸幸苑(伊丹市寺本6-150)

内容：「ミニ コンサート」

～ピアノとコーラス～(予定)

参加費：無料

連絡先：TEL0727-84-0057

(19時以降、砂脇まで)

■第2回「出会ボランティアサロン」

日時：6月 6日(土)午後6時半～

場所：岸和田市立福祉総合センター

内容：「釜ヶ崎から

人間の愛が見えてきた」

～ねえちゃんが「こんにちは」と声

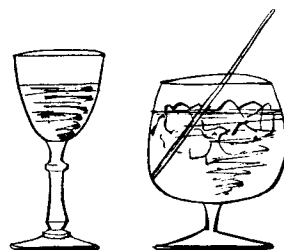
掛けてくれるだけでいいんや～

パネラー：入佐明美氏

(釜ヶ崎ボランティア・ケースワーカー18年)

参加費：無料

お問い合わせ先：TEL0724-22-0686(阪井健二)



きさみみずさん

日韓笑顔交流会

サロン紙で海外のお便りを紹介している中に、韓国の馬泰植氏がおられますが、その馬氏が韓国の障害者グループの方々と四月十七日に来阪されました。

二泊三日の超ハードスケジュールの中をサロンの人にも会いたいと希望くださり、大阪市立長居障害者スポーツセンターで出合いの場を持つことになりました。急なお話でしたので、一部の方にしか声かけができませんでしたが、馬氏をサロンに紹介くださった方、馬氏の手紙を和訳してくださっている方、ウイズの鈴木ご夫妻などサロン有志の方々(11名)が参集。馬氏

ご一行と二時間あまり親しくお話をする機会をもちました。

韓国側からは障害者と介助者のペア十一組とお世話役の方々が来られました。長居障害者スポーツセンターの見学をした後、会議室で落ち着いて馬氏方とお話合いをしました。初めてお会いした気がしないほど、馬氏はにこやかな笑顔でこの日の出会いを喜んでくださり、日本語オンリーの私たちも心を弾ませることができました。言葉は多く交わせませんでした。お互いの心を込めた笑顔、笑顔の交流会となりました。(け)

FROM EDITOR

編集後記

本紙118号(平成8年4月)～141号(平成10年3月)の合本が出来ました。平成8年といえば、<サロン・あべの>は、3月に10周年記念誌「はあとが、はろー！」を出し4月から11年目に入った年でした。そのころのもろもろをまとめてもう一度お読みいたゞくのもまた…。サロン文庫に置いています。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.143[98. 5.16.発行] 定価¥1000.

代表；上平幸雄〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子

郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941

印刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDE2F ☎06-719-8212 ☎06-719-8213

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(郵政省)